

「生命のがん教育」を実施しました

(令和元年度 1 学期分)

令和元年度 1 学期は 14 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



(京田辺市立三山木学校)



(京都廣学館高等学校)



(京都府立園部高等学校)

◎小学校 (5 校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
6 月 25 日	井手町立井手小学校	6 年	宇治徳洲会病院 放射線治療科 部長 立入 誠司
7 月 3 日	一燈園小学校	6 年	洛和会音羽病院 副院長 酒見 英太
7 月 3 日	京都市立山ノ内小学校	6 年	京都市立病院 外科 庄野 孝仁
7 月 16 日	京田辺市立三山木小学校	6 年	宇治徳洲会病院 消化器外科 松木 豪志
7 月 17 日	亀岡市立青野小学校	5, 6 年	京都第二赤十字病院 乳腺外科 西田 真衣子

< 児童の感想 >

☆ この前、ポストに「がん検診を受けてください」という手紙があって、母は「時間があれば行こう」と言っていたけれど、今日家に帰ったら母に「必ず行って」と言おうと思います。がん検診はとても大切だと気づけたからです。そして今日の話をして、がん予防のことなどを話してあげようと思いました。

☆ 気をつけても 100%かからないってわけじゃないっていわれたときは、怖かったし、自分は絶対かかりたくない気持ちが強くなりました。

☆ 「がん」はいつ誰がなるかわからないという事が分かってとても怖いなと思いました。「がん」は全身のいろんな所にできる事が分かりました

◎中学校（3校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
6月30日	京都市立東山小中学校	6～9年	京都第一赤十字病院 化学療法部 部長 内匠 千恵子
7月9日	京都市立勤修中学校	1年	京都医療センター がん診療部長 山崎 誠二
7月18日	精華町立精華中学校	2年	山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志

<生徒の感想>

☆ 自分の命を大切にするために、まずは自身の生活習慣についてきちんと知っておく必要があると思いました、その上で規則正しい生活を心がけていかなければと感じました。

☆ がん細胞って何をしたいんだろ。だって仲間を増やしたいなら、人間を殺す必要なくない？むしろ人間が死んだら自分達も消えることになるし。

☆ 「がん」になった人への接し方、とてもためになりました。なぜなら、どう接したら良いかがわからなかったからです。いつも通りでいいのだなと思うと、自分も少し楽になると思いました。がん教育は、とても自分のためにも身近な人のためにもなりました。

◎高等学校（6校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5月22日	京都市立紫野高等学校	1年	京都府立医科大学 教授 田口 哲也
5月29日	京都府立園部高等学校	1年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹

6月10日	京都廣学館高等学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
6月13日	京都府立南陽高等学校	1年	京都山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志
6月24日	京都市立白河総合支援学校	1年	京都大学医学部附属病院 腫瘍内科 齋藤 伴樹
7月2日	京都西山高等学校	1年	京都桂病院 副院長 國立 裕之

<生徒の感想>

☆ まだ自分には関係ないと思っていたら危ういと思うので、今回の講座で学んだ事を家に持ち帰って家族で話し合う時間を設けたいと思いました。

☆ 一人でがんばらずに、いろんな人に助けられることは、本当に心温かいエールになれるなと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : kentai@pref.kyoto.lg.jp